

文化財に関する基礎資料



文 化 庁

平成29年7月25日

文化財保護法について①

総 論

○昭和24年の法隆寺金堂壁画の焼損をきっかけに議員立法として昭和25年に成立。

【目的】

文化財を保存し、その活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献すること（第1条）。

【定義】

「文化財」とは「有形文化財」「無形文化財」「民俗文化財」「記念物（史跡・名勝・天然記念物）」「文化的景観」「伝統的建造物群」の6類型をいい（第2条）、文部科学大臣が重要なものを「重要文化財」等に指定する。

【任務と心構え】

- ・ 政府・地方公共団体は、文化財の保存が適切に行われるように、法律の趣旨の徹底に努める責務を有し（第3条）、法律の執行に当たって関係者の所有権その他の財産権を尊重する（第4条③）。
- ・ 一般国民は、政府等が行う措置に協力し、また文化財の所有者等は、文化財を公共のために保存するとともに、できるだけこれを公開するなど文化的活用にも努めなければならない（第4条①、②）。



有形文化財建造物
(国宝瑞龍寺)



有形文化財
(国宝黒韋威胴丸兜 大袖付)



重要無形文化財
(歌舞伎女形)



無形民俗文化財
(青森市ねぶた)



伝統的建造物群と民俗文化財
(岐阜県美濃市)



文化的景観

文化財保護法について②

文化財保護(＝保存＋活用)の法律上のスキーム

○ 国の役割：

- 重要な文化財の指定・選定・登録
- 所有者に対する修理等に関する指示・命令等
- 現状変更等の規制・許可、輸出の制限
- 修理・公開等への補助、税制優遇措置 等

○ 所有者の役割：

- 所有者の変更・毀損・所在変更等に係る届出
- 文化財の管理・修理・公開
- 重要文化財等の国に対する売渡の申出

○ 地方自治体の役割：

- 文化財保護条例の制定
- 国指定を除く文化財の指定 等

※ 罰 則：

- 文化財の損壊・き損、無許可の現状変更・輸出等に対する懲役・禁固・罰金・過料

管理・公開の考え方(重要文化財(建造物・美術工芸品)の例)

※建造物と美術工芸品の指定類型はともに「重要文化財」であり同一の条項で規定されている

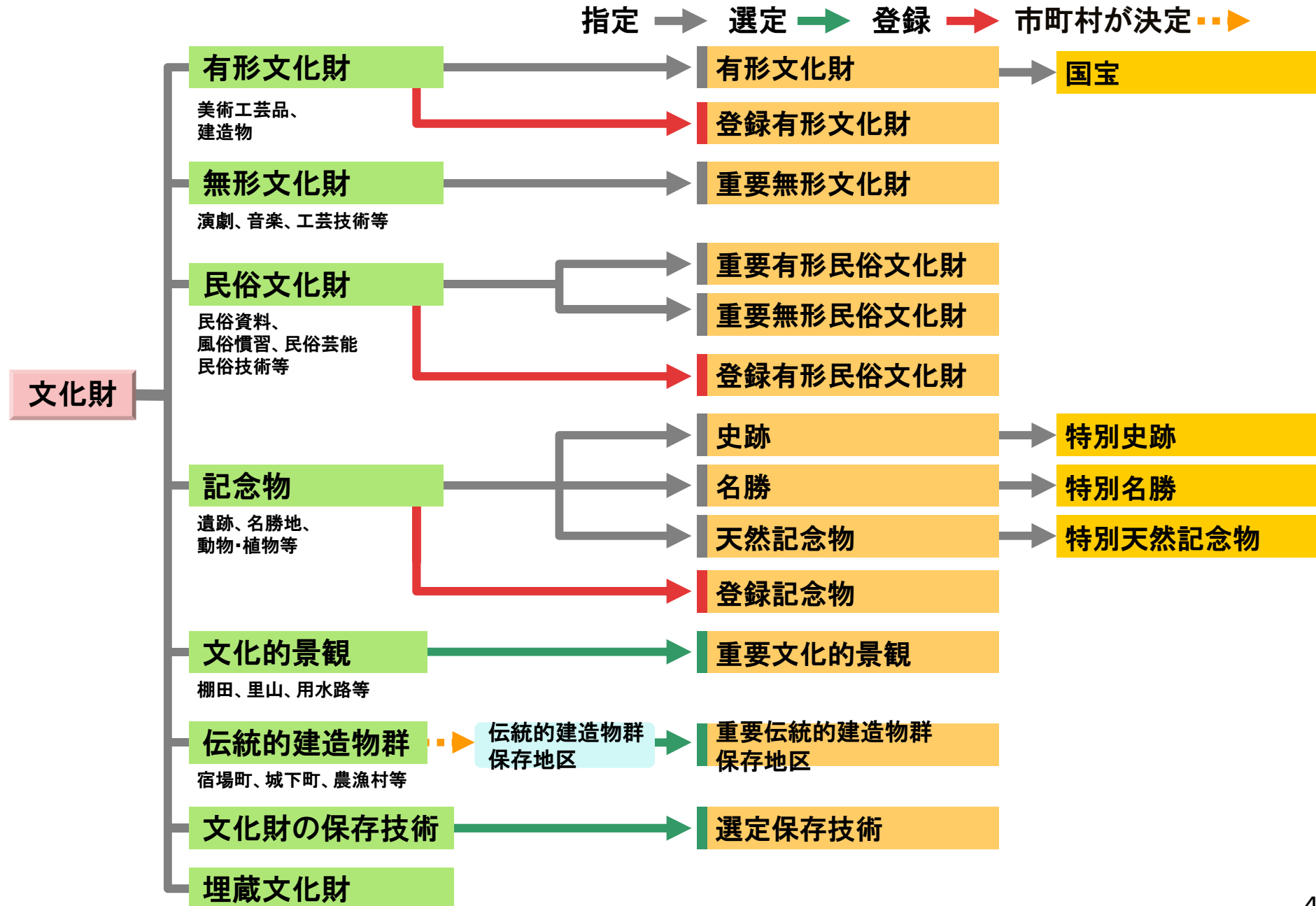
○ 管 理：

- 文化財の管理義務は、所有者が有する。
- 特別な事情のある場合、所有者は自己に代わり管理を行う「管理責任者」を選任できる。
- 所有者・管理責任者による管理が困難等の場合、文化庁長官は「管理団体」を指定できる。

○ 公 開：

- 文化財の公開は、所有者もしくは管理団体が行う。ただし、それ以外の者による公開も妨げない。
- 所有者等以外の公開には文化庁長官の許可を要する。ただし、事前に長官の承認を受けた博物館等（公開承認施設）の場合は事後の届出で足りる。

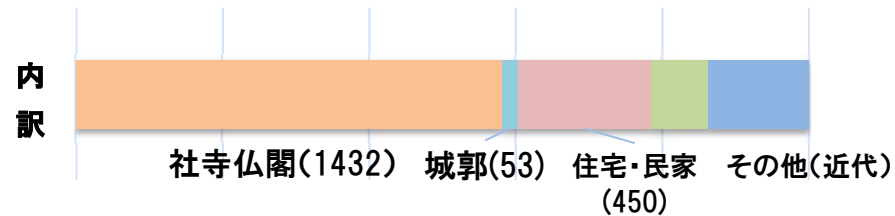
文化財の体系図



文化財の指定状況と所有者・管理団体の割合

H29.5.1現在

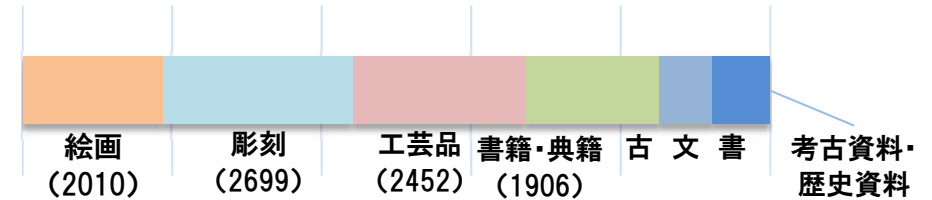
○ 重要文化財建造物 2,465件(うち国宝223件)



所有者・管理団体の割合



○ 重要文化財美術工芸品 10,654件(うち国宝878件)



所有者・管理団体の割合



○ 史跡 1,784件



- 貝塚・古墳等
- 都城跡等
- 社寺跡等
- 交通施設その他経済・生産活動に関する遺跡
- その他

○ 名勝 402件



- 庭園
- 峡谷・溪流
- 海浜
- 山岳
- その他

○ 重要有形民俗文化財 220件

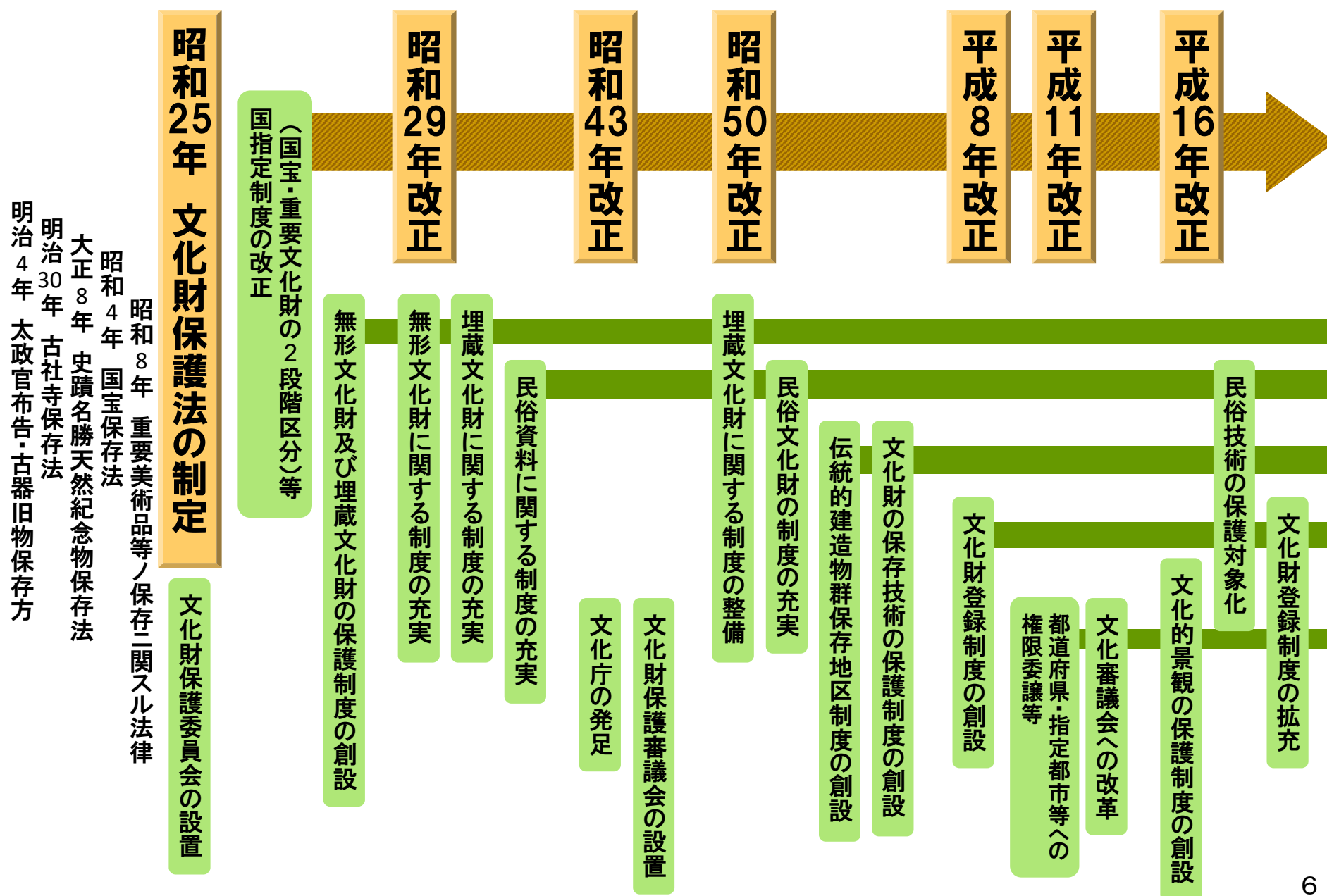
○ 重要無形民俗文化財 303件

○ 天然記念物 1,024件

○ 重要文化的景観 H16～ 50地区

○ 重要伝統的建造物群 S50～ 114地区

【参考】文化財保護法の変遷



～建築物～

社寺



石清水八幡宮

住宅・民家



岡本家住宅

城郭



姫路城

商業施設



岩手銀行

～美術工芸品～

絵画



高松塚古墳壁画

彫刻



銅造釈迦如来倚像

工芸品



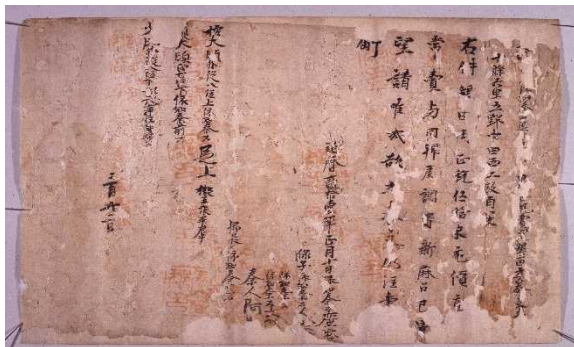
色絵若松図茶壺 仁清作

書跡・典籍



続本朝往生伝

古文書



壺田立券文
〈延暦二十一年正月十日〉

考古資料



流水文銅鐃

歴史資料



葦山代官江川家関係資料



氷川丸

～史跡～

古墳



昼飯大塚古墳(岐阜県)

城跡



史跡根城跡(青森県)



特別史跡江戸城跡(東京都)

交通施設その他経済・生産活動に関する遺跡



史跡草津宿本陣(滋賀県)



高島炭鉱跡端島炭坑跡(長崎県)



史跡萩反射炉(山口県)9

～名勝～

庭園



玄宮楽々園

山岳



富士山

(写真提供: 静岡県観光協会)

溪流



巖美溪

海浜



東平安名崎

～民俗文化財～

有形



大森及び周辺地域の海苔生産用具(東京都大田区)



中山の舞台(香川県小豆島町)

無形



青森のねぶた(青森県青森市)



男鹿のナマハゲ(秋田県男鹿市)

～伝統的建造物群保存地区～



名古屋市有松



鹿島市浜庄津町浜金屋町



三好市東祖谷山村落合



牟岐町出羽島

(写真は各市町より提供) 12

～文化的景観～



段々畑の景観(愛媛県西予市)



養殖筏の景観(岡山県備前市)



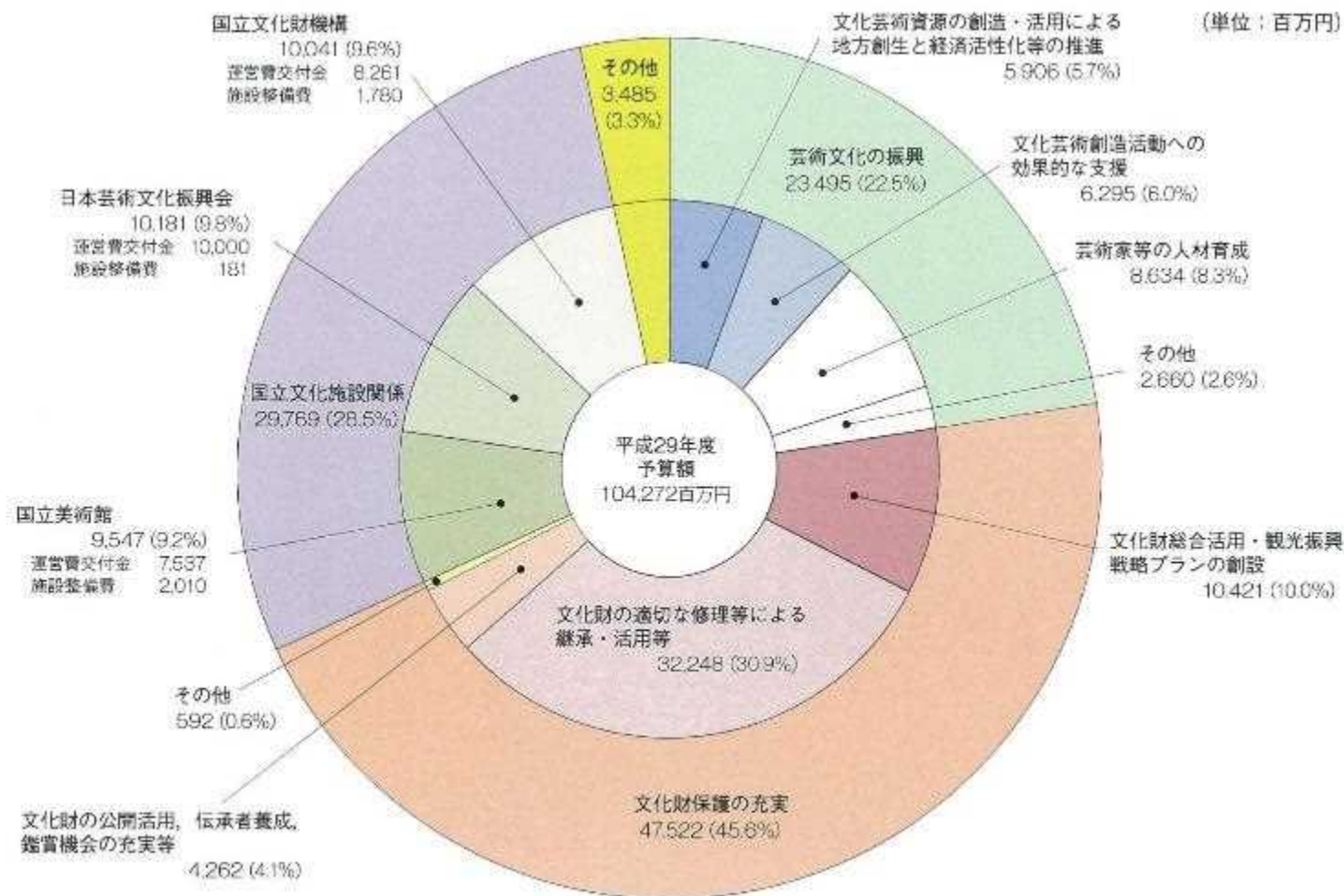
佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観(新潟県佐渡市)



防風石垣の景観(愛媛県愛南町)

予算

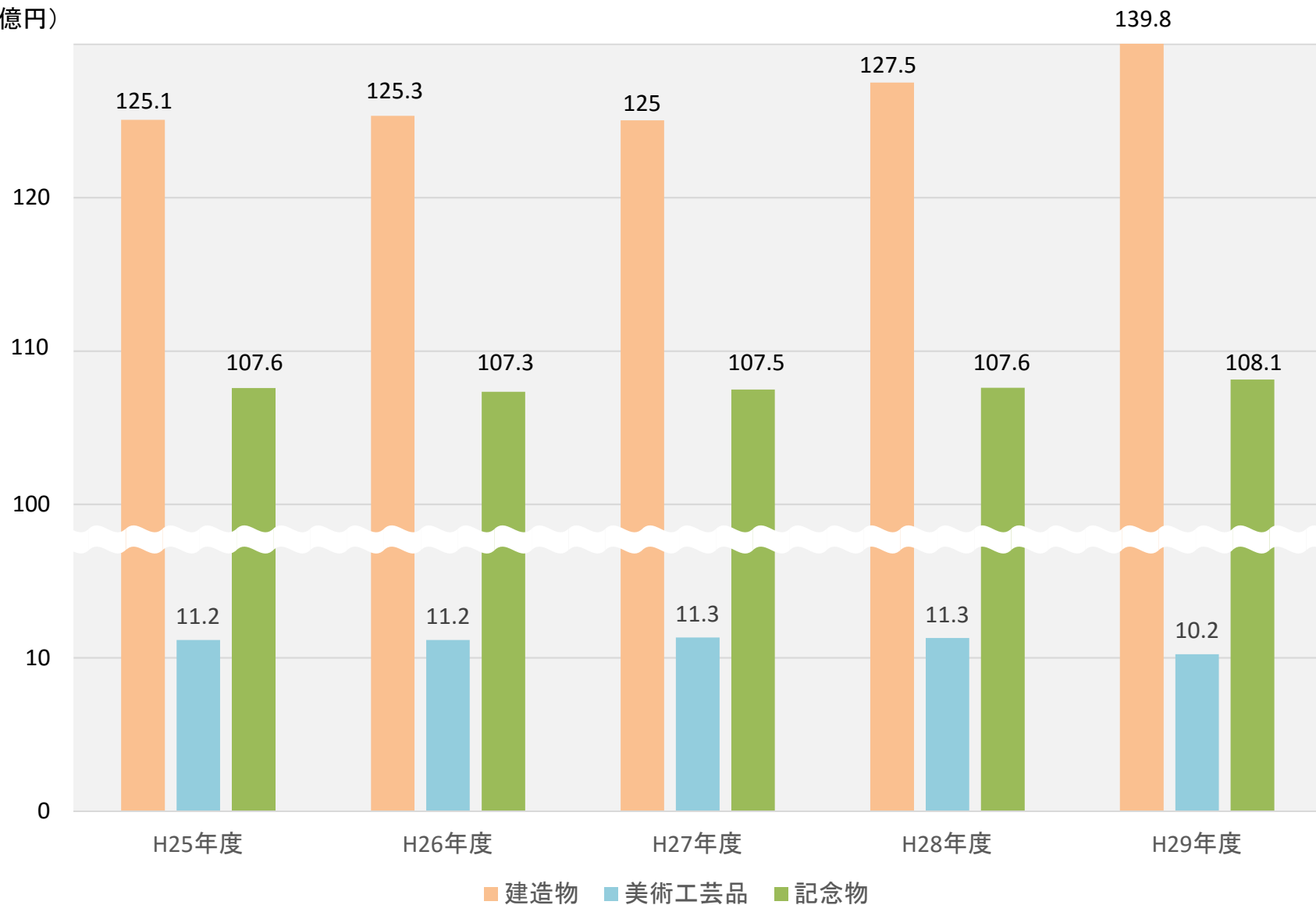
平成29年度文化庁予算〔分野別〕



注1: 単位未満を各々四捨五入しているため、合計額と合致しない場合がある。

文化財の保存修理・整備等に関する文化庁予算の推移

(億円)



※建造物:調査、保存修理、防災対策、活用整備、伝統的建造物群整備等の合計

※美術工芸品:調査、保存修理、防災対策、活用整備等の合計

※記念物:調査、計画策定、発掘調査、保存修理、活用整備等の合計

税 制

文化財の種類				重要文化財		重要有形民俗文化財	史跡名勝天然記念物	重要文化的景観	重要伝統的建造物群保存地区	登録有形文化財		登録有形民俗文化財	登録記念物	重要文化財等に準ずる文化財	重要美術品等	登録美術品	重要無形文化財の公演のための施設		
税目	優遇措置			美術工芸品	建造物					美術工芸品	建造物								
国 税	所得税	非課税 (土地を除く)	国・地方公共団体等への譲渡	○ 租特法 40の2①	○ 租特法 40の2①														
		1/2課税 (土地を除く)	国・地方公共団体等への譲渡			○ 租特法 40の2② (～H30.12.31)													
		土地に係る譲渡所得の特別控除(2000万円まで)	国・地方公共団体等への譲渡		○ 租特法 34②		○ 租特法 34②												
	法人税	土地に係る譲渡所得の損金算入(2000万円まで)	国・地方公共団体等への譲渡		○ 租特法 65の3①		○ 租特法 65の3①												
	相続税・贈与税	財産評価額の減額(土地を含む)	70/100控除		○ 国税庁 長官通達														
			30/100控除					○ 国税庁 長官通達	○ 国税庁 長官通達										
		物納の優先順位を第3位から第1位に繰り上げ															○ 租特法 70の12		
	地価税	非課税				○ 地価税法6, 別表第1⑦	○ 地価税法6, 別表第1⑦	○ 地価税法6, 別表第1⑦ 地価税令6③	○ 地価税法6, 別表第1⑦ 地価税令6③							○ 地価税法6			
		1/2課税									○ 地価税法17, 別表第2⑤,地 価税令17③			○ 地価税法17, 別表第2⑤,地 価税令17③					
	地 方 税	固定資産税	非課税	家屋			○ 地方税法 348②	○ 地方税法 348②	○ 地方税法 348②	○ 地方税法348 ②,地方税令 49の9							○ 地方税法 348②		
その敷地						○ 地方税法 348②	○ 地方税法 348②	○ 地方税法 348②								○ 地方税法 348②			
1/2課税			家屋						○ 地方税法 349の3⑫,地方 税令52の3の3			○ 地方税法 349の3⑫	○ 地方税法 349の3⑫	○ 地方税法 349の3⑫				○ 地方税法附 則15⑮(～ H29.12.31)	
			その敷地						○ 地方税法 349の3⑫				○ 地方税法 349の3⑫					○ 地方税法附 則15⑮(～ H29.12.31)	
適宜免除・軽減			その敷地								○ 自治省固定資 産税課長通知								
																		16	
取得不動産		1/2課税																○ 地方税法附 則11⑩(～ H29.12.31)	

文化財の保存修理・整備について

建造物(木造) 建造物(煉瓦造) 美術工芸品 史跡(城跡) 史跡(社寺跡) 名勝(庭園) 伝統的建造物群 文化的景観

(事例)



和田家住宅
(白川郷)

旧富岡製糸場
東置繭所

八橋蒔絵螺鈿硯箱
(東京国立博物館)

横須賀城跡
(掛川市)

相模国分寺跡
(海老名市)

旧諸戸氏庭園
(桑名市)

美馬市脇町南町

姨捨の棚田
(千曲市)

(保存手法例)

○解体修理
○屋根葺替
○塗装修理
○防災対策
○防犯対策等

○部分修理
○屋根葺替
○防災対策
(特に耐震対策)
○防犯対策等

○修理
○保存箱・台座等
の新調・修理
○収蔵庫整備等

○石垣等復旧
○整地盛土等
○復元建造物等
の防災対策等

○整地・石積等
○給排水施設等
整備
○標識等設置等

○剪定・植栽
○雑木雑草除去
○土砂災害防止
○建造物の耐震
対策等

○解体・部分修理
○修景
○防災対策
○防犯対策等

○石垣等復旧
○建造物修理
○修景
○標識等設置
○防災対策等

(整備手法例)

○保存活用計画
の策定
○便益・展示施設
等の整備
○外観美装化等

○保存活用計画
の策定
○便益・展示施設
等の整備等

○保存活用施設、
展示設備、解説
用設備の整備
等

○展示施設整備
○模型等の製作
○復元的整備
○野外観測・体験
活用施設整備等

○史料に基づく歴
史的建造物の
復元
○ガイダンス施設
整備等

○説明板・休息施
設・便益施設設
置
○模型等の製作
○復元的整備等

○便益・展示施設
等の整備等
○修景、敷地内
整備等

○説明板・便益施
設設置
○構成要素物件
の修景等

※画像出典は全て国指定等文化財等データベース

文化財保存事業(国庫補助事業)※補助率50~85%

○建造物の保存修理等

(保存修理事業、防火・防犯対策、耐震対策事業など)
→「国宝・重要文化財建造物保存修理強化対策事業」
(年間120件程度、H29年度予算額88億円)
「防災・耐震対策重点強化事業」
(年間90件程度、H29年度予算額11.5億円)など

○伝統的建造物群基盤強化

(定期的な修理、耐震対策・防災施設等の整備)
→「保存改修」「防災施設等」(年間100件程度、H29年度予算額15.2億円)

○美術工芸品の保存修理等

(保存修理事業、防災施設、保存活用施設の整備など)
→「保存修理」(年間160件程度、H29年度予算額6.5億円)
「防災施設」「重要文化財等保存活用整備事業」
(年間20件程度、H29年度予算額3.5億円)など

○史跡等の保存整備・活用等

(保存整備、活用、公有化など)
→「歴史生き生き！史跡等総合活用推進事業」
(年間440件程度、H29年度予算額65億円)
「史跡等の買い上げ」(年間190件程度、H29年度予算額106億円)など

文化財の保存活用計画等の策定状況

類 型	名 称	策定根拠	策定効果	策定主体	策定方法	記載事項	策定件数／指定件数 (H29.6.1現在)
重要文化財 (建造物)	保存活用計画	重要文化財(建造物)保存活用計画の策定について (平成11年3月24日庁保建第164号文化庁文化財保護部長通知)	計画に基づく活用整備事業に対して国庫補助	所有者・管理責任者・管理団体	・所有者等が都道府県・市町村教委の指導・助言を得て策定(必要に応じて文化庁に協議。また所有者等の依頼により市町村教委が代行可) ・策定後、文化庁が内容を確認	・保存管理計画(建造物の保護の方針等) ・環境保全計画(周囲の土地や指定以外の建造物の保全の方針等) ・防災計画 ・活用計画(※居住・業務等の日常利用で屋内公開困難の場合は省略可) ・保護に係る諸手続(各計画に基づく行為に関し法令上必要な届出・許可の手続) 等	125／2,465
史跡名勝天然記念物	保存活用計画	史跡等・重要文化的景観マネジメント支援事業報告書 (H27.3文化庁文化財部記念物課)	計画に基づく活用整備事業に対して国庫補助	地方公共団体・所有者・管理団体	地方公共団体等が文化庁、都道府県・市町村教委の指導・助言を得て作成。	・策定の沿革・目的 ・史跡等の概要、本質的価値 ・現状・課題 ・大綱・基本方針 ・保存(保存管理) ・活用 ・整備 ・運営・体制の整備 ・施策の実施計画の策定・実施 ・経過観察 等	(史)454／1,784 (名)98／402 (天)61／1,024
	管理のための計画	文化財保護法施行令第5条第4項第1号ヲ	計画に基づき文化庁が指定した区域内の現状変更の権限委譲	都道府県または市の教育委員会	地方公共団体が文化庁、都道府県・市町村教委の指導・助言を得て作成。	・史跡等の別及び名称 ・指定年月日 ・史跡等の所在地 ・管理計画を定めた教育委員会 ・史跡等の管理の状況 ・史跡等の管理に関する基本方針 ・史跡等の現状変更等の許可の基準及びその適用区域 等	(史)4／1,784 (名)7／402 (天)3／1,024 (うち1件は名勝及び天然記念物、1件は史跡及び天然記念物)
重要伝統的建造物群保存地区	保存計画	重要伝統的建造物群保存地区の選定の申出に関する規則 第1条第4項 ※計画策定が選定申出の前提	選定申出に必要	市町村教育委員会	・市町村教委が策定・告示 ・選定申出の際に文化庁へ提出	・保存地区の保存に関する基本計画 ・伝統的建造物及び環境物件の決定 ・地区内建造物の保存整備計画 ・助成措置等 ・管理施設・設備・環境の整備計画 等	114／114
重要文化的景観	保存計画	重要文化的景観選定及び届出等に関する規則 第1条第1項第1号 ※計画策定が選定申出の前提	選定申出に必要	都道府県・市町村	・都道府県・市町村が策定 ・選定申出の際に文化庁へ提出	・位置及び範囲 ・保存に関する基本方針 ・保存に配慮した土地利用 ・整備 ・保存に必要な体制 ・重要な構成要素 等	51／51

※美術工芸品、民俗文化財、無形文化財は統一的な計画は策定していない。

文化財建造物の修理

国宝・重要文化財(建造物)を次世代に継承するための修理や、自然災害等から護るための防災施設等の整備、耐震対策等に対する補助を行う。

(破損・劣化の例)



雨漏りによる部材の腐朽
杵原八幡宮本殿(大分県)



経年による茅葺屋根の腐朽
平等寺薬師堂(新潟県)



経年による彩色塗装の劣化
東照宮唐門(東京)

(修理前と修理後)



慈眼寺庫裏(山梨県)

文化財建造物の安全対策

文化財建造物の耐震対策

耐震診断

耐震診断の実施
対処方針の策定



ボーリングによる地盤調査



耐震診断・建造物の立体モデル化



構造実験・筋違壁の載荷実験

耐震対策工事

耐震補強工事の実施



格子壁補強（木造）



鉄骨バットレス補強（煉瓦造）

耐震対策の普及啓発

重要文化財の構造実験データ
の収集、公表



城郭土壁の強度載荷実験

柱継手の強度載荷実験

伝建地区・登録の耐震対策事例
の収集・分析と進め方の提示



伝建地区建造物の事例（制振ダンパー設置）

登録有形文化財の事例（壁面の鉄板補強）

重要文化財の修理等で得られた構造実験データを収集、公表することで、伝統的建造物をより適切で簡易に診断することが可能となり、耐震対策の推進に繋がる。

耐震対策の遅れている伝建地区建造物・登録有形文化財に対し、耐震対策事例を収集・分析して進め方を提示することで耐震対策を推進する。

国宝・重要文化財(建造物)保存修理(一般)の例 諏訪大社上社本宮幣殿ほか5棟

信濃国一宮として古くから崇敬を集めている古社で、七年毎に行われる御柱祭は全国的に著名。神社は上社と下社に分かれ、上社はさらに前宮と本宮よりなる。

修理前



修理後



- ・所 在: 長野県諏訪市
- ・対 象: 幣殿、拝殿、左右片拝殿(2棟)、脇片拝殿、四脚門
- ・形 式: 幣殿 正面一間、一重、檜皮葺
拝殿 桁行一間、梁間一間、一重、向唐破風造、檜皮葺
- ・概 要: 経年による屋根や銑金具の劣化。屋根葺替(銅板葺から檜皮葺に変更)と破損部の修理。
- ・工 費: 2億650万円、修理工事報告書刊行
- ・期 間: 平成24年12月～平成27年8月(33ヵ月)

国宝・重要文化財(美術工芸品)保存修理(一般)の例 国宝紙本著色源氏物語絵巻

12世紀に描かれた現存する最古の絵巻物。全部で4巻分が残っており、3巻15場面を徳川美術館、1巻4場面を東京の五島美術館が所蔵している。

修理前



全体的にしわや汚損が目立つ

修理後



- ◎事業者
(公財) 徳川黎明会 徳川美術館 (愛知県名古屋市)
- ◎近年の修理における国庫補助事業の状況
 - ・期 間：平成24～27年度
 - ・総事業費：2,160万円
 - ・国庫補助：1,188万円 (55%)
 - ・修理内容：解体・剥落・剥離止、裏打紙除去、汚れ除去、補修紙作成等

特別企画 国宝 源氏物語絵巻

会期 平成27年11月14日(土)～12月6日(日)

入場者数 51,146人

主催 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・中日新聞社・日本経済新聞社・NHK名古屋放送局



美術工芸品の公開活用実績等①

○展覧会等への出品による公開実績(国宝・重要文化財)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
展覧会数	220件	202件	201件
出品件数	1,457件	1,192件	1,189件

○文化財保護法33条に基づいた国宝・重要文化財(美術工芸品)のき損事故届出件数

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
件数	9件	13件	14件	19件	29件

※平成28年度は地震によるき損件数(熊本3件、鳥取3件、長野1件、茨城1件)を含む。

○公開活用に伴うき損事例

【事例1】

➤ 平成20年4月

所蔵館が実施する現地調査中に、銅剣と展示台が接触し、銅剣中央部に弧状の亀裂が生じた。

⇒セルロース系接着剤にて可逆性のある応急処置を行った。(修理費はなし)

【事例2】

➤ 平成18年5月

海外展に出品していた国宝の巻物を展示替えのため撤収した際に、八双を包む絹地部の亀裂が拡大

⇒き損したまま帰国。その後、国内で修理を実施。修理費用:約122万円。(修理費用は保険を適用。)

【事例3】

➤ 平成13年9月

建物の庭を会場とした公演の準備中、突然の降雨により急遽屋内に資材等を運び入れた際、重要文化財の襖絵が一部陥没

⇒解体の上、応急的修理を行った。修理費用は約122万円。(修理費用は保険を適用。)

美術工芸品の公開活用実績等②

○国立博物館における国宝・重文が出品された展覧会の開催件数及び入場者数

	平成26年度 開催件数：10件		平成27年度 開催件数：10件		平成28年度 開催件数：12件	
東博	特別展「栄西と建仁寺」	229,994	特別展「みちのくの仏像」	16,573	特別展「生誕150年 黒田清輝—日本近代絵画の巨匠」	157,589
	2014年日中韓国立博物館合同企画特別展「東アジアの華 陶磁名品展」	※1(65,075)	特別展「鳥獣戯画—京都 高山寺の至宝」	239,115	特別公開「国宝土偶 縄文の女神」	※2 -
	「日本国宝展」	386,708	特別展「生誕150年 黒田清輝—日本近代絵画の巨匠」	24,764	日韓国交正常化50周年記念 特別展「ほほえみの御仏—二つの半跏思惟像—」	78,562
	特別展「みちのくの仏像」	162,948	特別公開「国宝土偶 縄文の女神」	※2 -	特別展「平安の秘仏—滋賀・櫛野寺の大観音とみほとけたち」	212,144
					臨濟禅師1150年・白隠禅師250年遠諱記念特別展「禅—心をかたちに」	133,629
					特別展「春日大社—千年の至宝」	209,572
京博	特別展「南山城の古寺巡礼」	69,443	特別展覧会「桃山時代の狩野派—永徳の後継者たち—」	118,186	臨濟禅師1150年・白隠禅師250年遠諱記念特別展覧会「禅—心をかたちに—」	88,228
	特別展「修理完成記念 国宝 鳥獣戯画と高山寺」	203,900	琳派誕生四〇〇年記念特別展覧会「琳派 京を彩る」	327,925	特別展覧会 没後150年「坂本龍馬」	98,533
奈良博	特別展「武家のみやこ 鎌倉の仏像—迫真とエキゾチズム—」	37,022	特別展「まぼろしの久能寺経に出会う 平安古経展」	10,561	特別展「国宝 信貴山縁起絵巻—朝護孫子寺と毘沙門天王信仰の至宝—」	55,198
	特別展「国宝 醍醐寺のすべて—密教のほとけと聖教—」	78,476	開館120年記念特別展「白鳳—花ひらく仏教美術—」	128,901	生誕800年記念特別展「忍性—救済に捧げた生涯—」	39,834
九博	特別展「華麗なる宮廷文化 近衛家の国宝 京都・陽明文庫展」	60,808	九州国立博物館開館10周年記念特別展「戦国大名—九州の群雄とアジアの波涛—」	77,455	特別展「京都 高山寺と明恵上人—特別公開 鳥獣戯画—」	161,172
	特水城・大野城・基肄城築造1350年記念別展「古代日本と百済の交流—大宰府・飛鳥そして公州・扶餘—」/特別展「日本発掘—発掘された日本列島2014—」	59,629	九州国立博物館開館10周年記念特別展「美の国日本」	160,753	特別展「宗像・沖ノ島と大和朝廷」	75,966

※1 この特別展は、平常展料金のため、平常展のみの来館者に計上

※2 この特別展、特別公開の会場は平常展の一部で、別途カウントを行っていない。 24

史跡の整備

歴史上、学術上価値の高い史跡等について、保存と活用を図るための事業を行う
所有者、管理団体等に対する補助を行う。

便益施設



九谷焼窯跡(石川県加賀市)

活用事業(建物復元体験)



ガイダンス施設



旧池田氏庭園(秋田県大仙市)



八王子城跡(東京都八王子市)



地藏田遺跡(秋田県秋田市)



姉川城跡(佐賀県神埼市)

史跡等の復旧

自然災害等により劣化・破損した史跡等の現状への復旧について補助を行う。



史跡 松前藩戸切地陣屋跡(北海道北斗市)



名勝 旧池田氏庭園(秋田県大仙市)



史跡 福岡城跡(福岡県福岡市)

史跡復旧の例 小峰城跡

奥州白河藩主歴代の居城として築城された近世城郭の一つで、石垣を多用した江戸時代の城郭の姿を良好に残し、我が国近世の政治・軍事を知る上で重要な遺構。東日本大震災により甚大な被害を受けたため、現在、石垣等の復旧を行っている。

復旧前



復旧後



◎事業者
白河市

◎国庫補助事業の状況

・期 間：平成24年度～

・修理内容：月見櫓・本丸西面・本丸北面・雪見櫓・帯曲輪北面石垣修理等

歴史文化を活かしたまちづくりの推進施策

歴史文化基本構想(H19~)

文化財を核として、地域全体を歴史文化の観点から捉え、各種施策を統合して歴史・文化を活かした地域づくりを進めるための地方公共団体の基本的な構想。
(H19文化審議会企画調査会で提言)

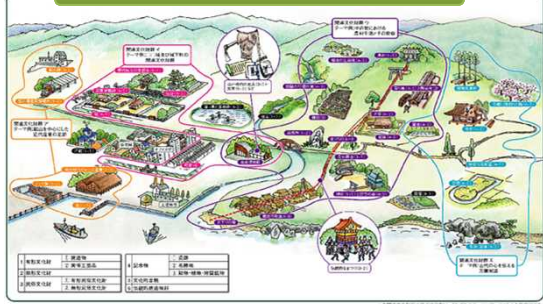
【策定件数】 57計画（60市町村）H29.3時点

【策定件数】 57計画（60市町村）H29.3時点

【構想に記載する事項（例）】

- ・ 地域の歴史文化の特徴
- ・ 文化財把握の方針
- ・ 保存・活用の基本方針
- ・ 関連文化財群
- ・ 歴史文化保存活用区域
- ・ 保存活用計画作成の考え方
- ・ 保存活用の体制整備の方針

関連文化財群のイメージ



(文科省・国交省・農水省の共管)

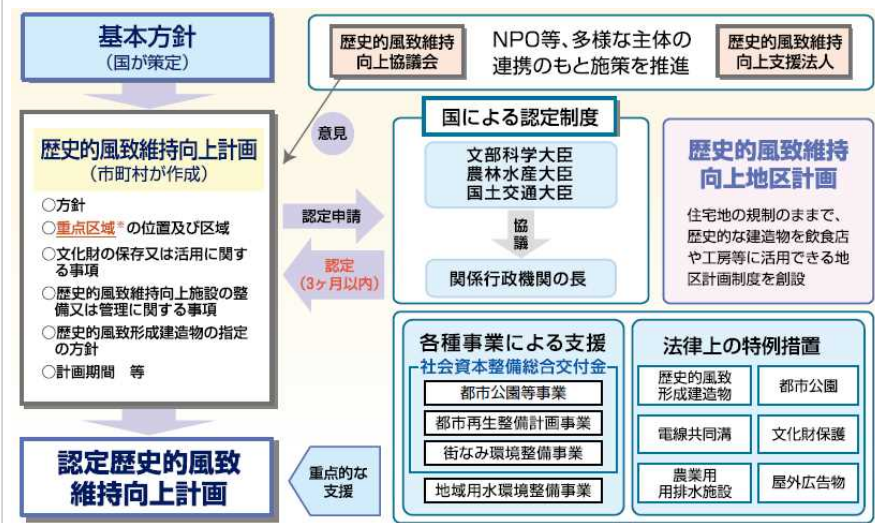
歴史まちづくり法(H20～)

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」

地域固有の歴史・伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史的建造物等が一体となって形成する良好な市街地の環境である「歴史的風致」を保護。

【認定件数】 62件 H29.3時点

【認定件数】 62件 H29.3時点



(※) 重要文化財建造物等の周辺など

日本遺産(H27～)

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定。認定地域の魅力発信等を推進。

歴史文化基本構想策定又は歴史的風致維持向上計画の認定などが認定申請の要件（複数地域による「シリアル型」を除く）。

【認定件数】 54件 H29.5時点

【認定ストーリーのポイント】

- ・ 歴史的経緯や地域で受け継がれる伝承・風習等を踏まえていること
- ・ ストーリーの中核に明確なテーマを設定し、建造物や遺跡・名勝地、祭りなど、地域に根ざして継承・保存がなされている文化財にまつわるものが据えられていること。
- ・ 単に文化財の価値を解説するだけのものになっていないこと。

個々の遺産を「点」として指定・保存

甲冑	→	国宝・重要文化財
寺社・仏閣・城郭・遺跡	→	史跡・名勝
伝統芸能	→	無形文化財・民俗文化財

→地域の魅力が十分に伝わらない

✓

日本遺産

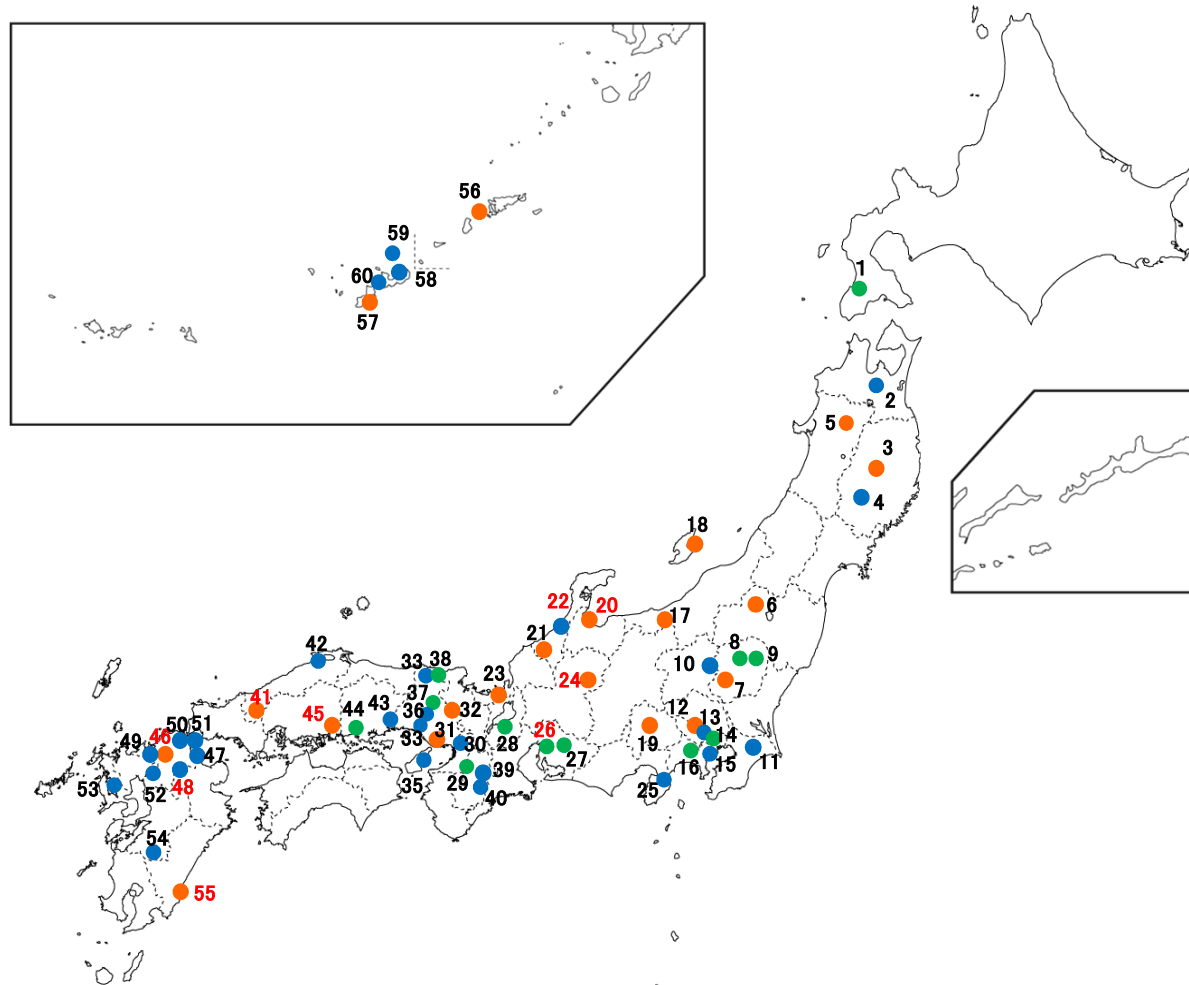
点在する遺産を「面」として活用・発信



「活用」重視

「歴史文化基本構想」策定市町村一覧

(平成29年4月 1 日現在)

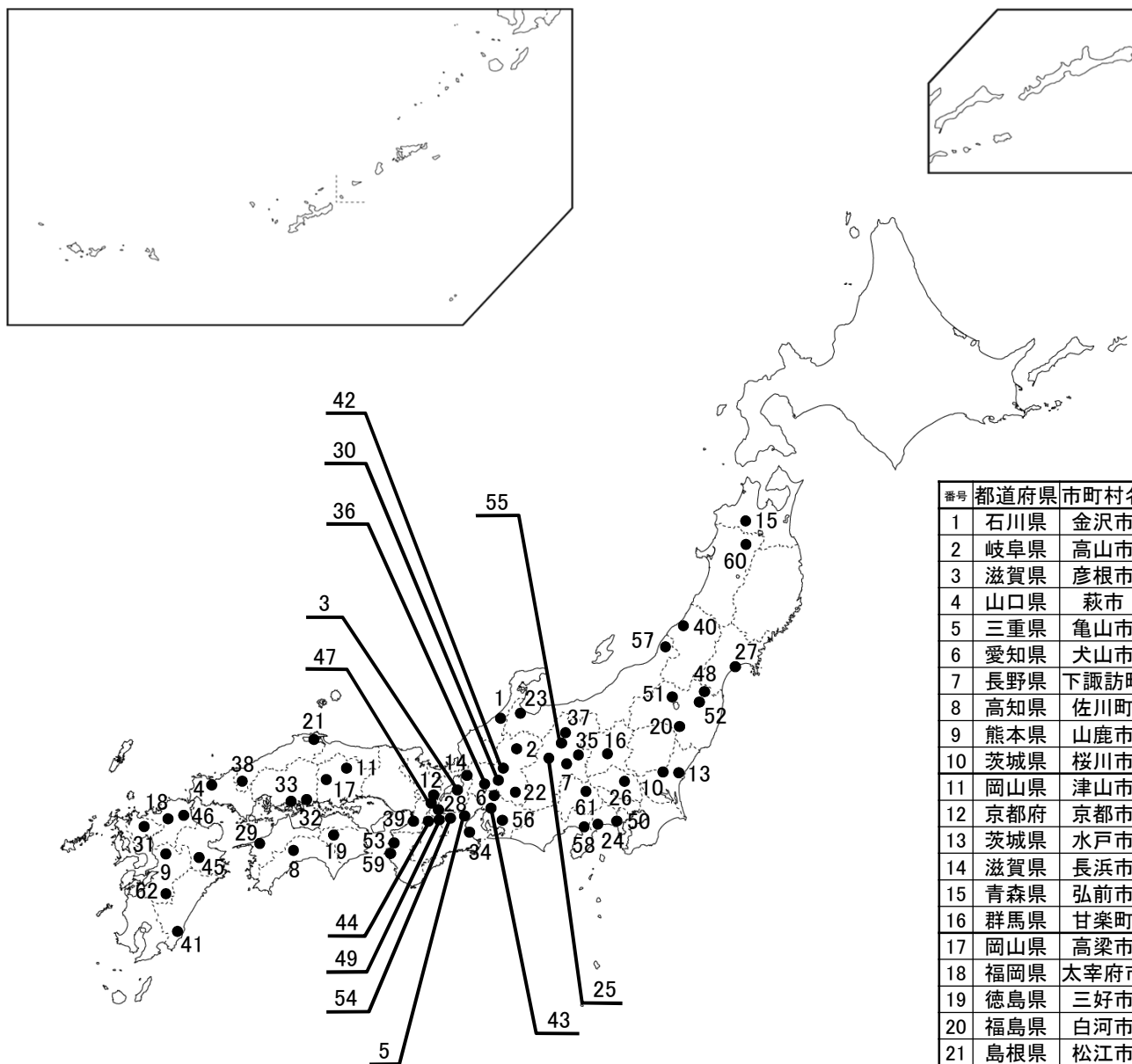


- : 文化財総合的把握モデル事業実施市町村(20計画(23市町村))
- : 独自に策定した地方公共団体(28市町村)
- : 策定補助事業実施市町村(12市区町)
- 赤字: 歴史的風致維持向上計画認定都市

No.	都道府県	市区町村	No.	都道府県	市区町村
1	北海道	江差町	31	兵庫県	高砂市
2	青森県	青森市	32		篠山市
3	岩手県	盛岡市	33		姫路市
4		金ヶ崎町	34		新温泉町
5	秋田県	北秋田市	35		淡路市
6	福島県	三島町	36		神河町
7	栃木県	足利市	37		朝来市
8		下野市	38		豊岡市
9		益子町	39	奈良県	桜井市
10	群馬県	みどり市	40		明日香村
11	千葉県	酒々井町	41	島根県	津和野町
12	東京都	日の出町	42		出雲市
13		西東京市	43	岡山県	備前市
14		世田谷区	44		倉敷市
15	神奈川県	川崎市	45	広島県	尾道市
16		伊勢原市	46	福岡県	大宰府市
17	新潟県	上越市	47		上毛町
18		佐渡市	48		添田町
19	山梨県	韮崎市	49		那珂川町
20	富山県	高岡市	50		宮若市
21	石川県	加賀市	51		行橋市
22		金沢市	52		筑前町
23	福井県	小浜市・若狭町	53	長崎県	長崎市
24	岐阜県	高山市	54	熊本県	人吉市
25	静岡県	伊豆の国市	55	宮崎県	日南市
26	愛知県	名古屋市	56	鹿児島県	宇換村・伊仙町・奄美市
27		瀬戸市	57	沖縄県	南城市
28	滋賀県	東近江市	58		大宜味村
29	大阪府	河内長野市	59		伊平屋村
30		池田市	60		西原町

「歴史的風致維持向上計画」認定市町村一覧

(平成29年4月 1 日現在)



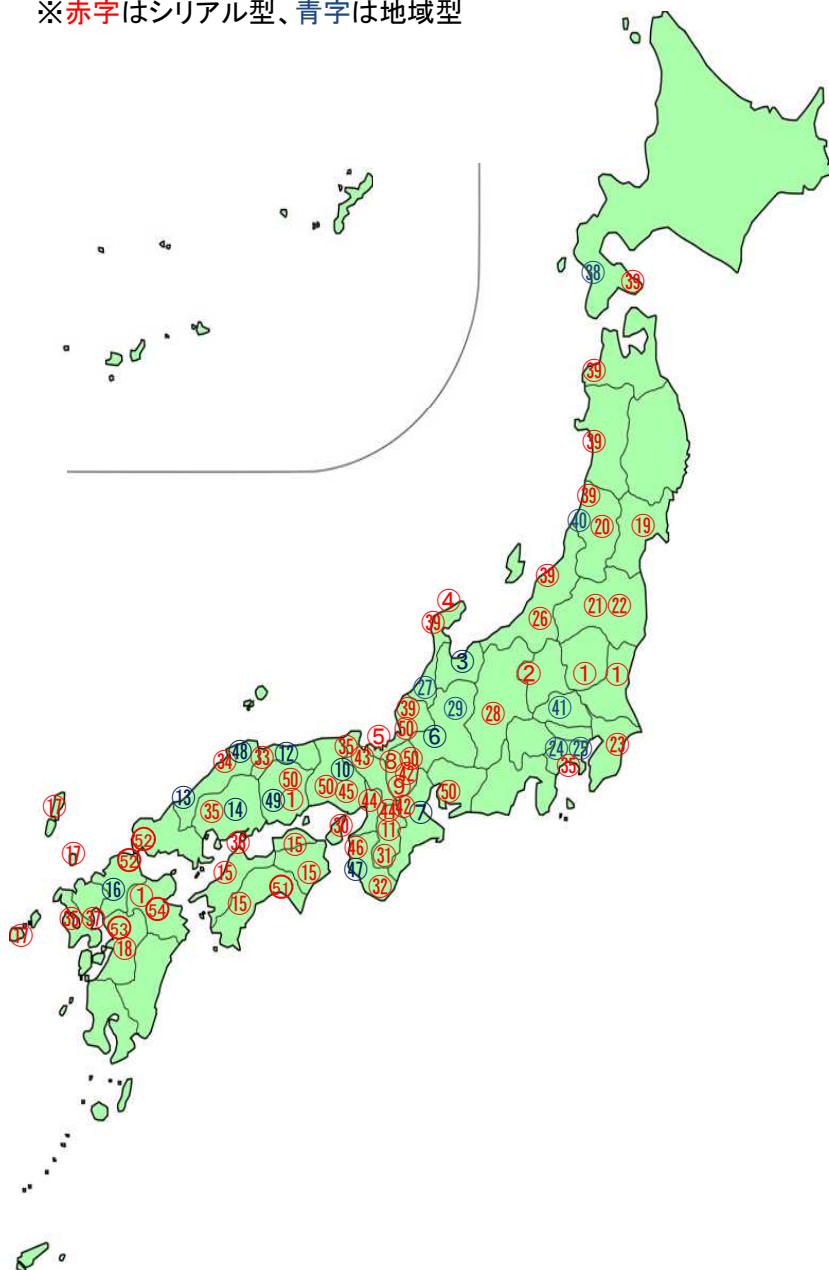
番号	都道府県	市町村名	認定日
1	石川県	金沢市	H21. 1.19
2	岐阜県	高山市	
3	滋賀県	彦根市	
4	山口県	萩市	
5	三重県	亀山市	H21. 3.11
6	愛知県	犬山市	
7	長野県	下諏訪町	
8	高知県	佐川町	
9	熊本県	山鹿市	H21. 7.22
10	茨城県	桜川市	
11	岡山県	津山市	
12	京都府	京都市	
13	茨城県	水戸市	H22. 2. 4
14	滋賀県	長浜市	
15	青森県	弘前市	
16	群馬県	甘楽町	
17	岡山県	高梁市	H22.11.22
18	福岡県	太宰府市	
19	徳島県	三好市	
20	福島県	白河市	
21	島根県	松江市	H23. 2.23
22	岐阜県	恵那市	

番号	都道府県	市町村名	認定日
23	富山県	高岡市	H23. 6. 8
24	神奈川県	小田原市	
25	長野県	松本市	
26	埼玉県	川越市	
27	宮城県	多賀城市	H23.12. 6
28	京都府	宇治市	H24. 3. 5
29	愛媛県	大洲市	
30	岐阜県	美濃市	
31	佐賀県	佐賀市	
32	広島県	尾道市	H24. 6. 6
33	広島県	竹原市	
34	三重県	明和町	
35	長野県	東御市	
36	岐阜県	岐阜市	H25. 4.11
37	長野県	長野市	
38	島根県	津和野町	
39	大阪府	堺市	
40	山形県	鶴岡市	H25.11.22
41	宮崎県	日南市	
42	岐阜県	郡上市	
43	愛知県	名古屋	
44	奈良県	斑鳩町	H26. 2.14
45	大分県	竹田市	
46	福岡県	添田町	
47	京都府	向日市	
48	福島県	国見町	H27. 2.23
49	奈良県	奈良市	
50	神奈川県	鎌倉市	
51	福島県	磐梯町	
52	福島県	桑折町	H28. 3.28
53	和歌山県	湯浅町	
54	三重県	伊賀市	
55	長野県	千曲市	
56	愛知県	岡崎市	H28. 5.19
57	新潟県	村上市	
58	和歌山県	広川町	
59	静岡県	三島市	
60	秋田県	大館市	H29.03.17
61	山梨県	甲州市	
62	熊本県	湯前町	

認定された日本遺産一覧

(平成29年7月現在)

※赤字はシリアル型、青字は地域型



＜平成27年度認定＞

- ①近世日本の教育遺産群 ―学ぶ心・礼節の本源―
- ②かかあ天下ーぐんまの絹物語ー
- ③加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡 ―人・技・心―
- ④灯(あか)り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～
- ⑤海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群 ～御食国(みけつくに)若狭と鯖街道～
- ⑥「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜
- ⑦祈る皇女斎王のみやこ 斎宮
- ⑧琵琶湖とその水辺景観ー祈りと暮らしの水遺産
- ⑨日本茶800年の歴史散歩
- ⑩丹波篠山 デカンショ節 -民謡に乗せて歌い継ぐふるさと記憶
- ⑪「日本国創成のときー飛鳥を翔(かけ)た女性たちー」
- ⑫六根清浄と六感治癒の地 ～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～
- ⑬津和野今昔～百景図を歩く～
- ⑭尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市
- ⑮「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～
- ⑯古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～
- ⑰国境の島 壱岐・対馬 ～古代からの架け橋～
- ⑱相良700年が生んだ保守と進取の文化 ～日本でもっとも豊かな隠れ里 ―人吉球磨～

＜平成28年度認定＞

- ⑲政宗が育んだ“伊達”な文化
- ⑳自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』～樹齢300年を超える杉並木につつまれた2,446段の石段から始まる出羽三山～
- ㉑会津の三十三観音めぐり～巡礼を通して親た往時の会津の文化～
- ㉒未来を拓いた「一本の水路」ー大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代ー
- ㉓「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」ー佐倉・成田・佐原・銚子:百万都市江戸を支えた江戸近郊の四つの代表的町並み群ー
- ㉔江戸庶民の信仰と行楽の地ー巨大な木太刀を担いで「大山詣り」～
- ㉕「いざ、鎌倉」～歴史と文化が描くモザイク画のまちへ～
- ㉖「なんだ、コレは！」 信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化
- ㉗『珠玉と歩む物語』小松 ～時の流れの中で磨き上げた石の文化～
- ㉘木曾路はすべて山の中 ～山を守り 山に生きる～

- ㉙飛騨匠の技・ころこ ―木とともに、今に引き継ぐ1300年―

- ㉚『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」～古代国家を支えた海人の営み～
- ㉛森に育まれ、森を育んだ人々の暮らしとところ～美林連なる造林発祥の地“吉野”～
- ㉜鯨とともに生きる
- ㉝地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市
- ㉞出雲國たたら風土記 ～鉄づくり千年が生んだ物語～
- ㉟鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～
- ㊱“日本最大の海賊”の本拠地:芸予諸島ーよみがえる村上海賊“Murakami KAIZOKU”の記憶ー
- ㊲日本磁器のふるさと 肥前 ～百花繚乱のやきもの散歩～

＜平成29年度認定＞

- ㊳江差の五月は江戸にもない ―ニシンの繁栄が息づく町ー
- ㊴荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～
- ㊵サムライゆかりのシルク 日本近代化の原風景に出会うまち鶴岡へ
- ㊶和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田
- ㊷忍びの里 伊賀・甲賀ーリアル忍者を求めてー
- ㊸300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊
- ㊹1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」～竹内街道・横大路(大道)～
- ㊺播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道～資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍～
- ㊻絶景の宝庫 和歌の浦
- ㊼「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅
- ㊽日が沈む聖地出雲 ～神が創り出した地の夕日を巡る～
- ㊾一輪の綿花から始まる倉敷物語 ～和と洋が織りなす繊維のまち～
- ㊿きつと恋する六古窯 ―日本生まれ日本育ちのやきもの産地―
- ㊿森林鉄道から日本一のゆずロードへ ―ゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化―
- ㊿関門“ノスタルジック”海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～
- ㊿米作り、二千年にわたる大地の記憶 ～菊池川流域「今昔『水稲』物語」～
- ㊿やばけい遊覧～大地に描いた山水絵巻の道をゆく

文化財活用・理解促進戦略プログラム2020の策定について(1)(概要)

平成28年3月にとりまとめられた「明日の日本を支える観光ビジョン」を踏まえ、文化財を貴重な地域・観光資源として活用するために、2020年までに取り組むアクションプログラムを策定。

目指すべき将来像

○文化財を中核とする観光拠点の整備

大内宿の茅葺き民家群再生（福島県）

- ・地域の文化財の一体的整備を計画的に行い、観光中心の産業構造へ転換
- ・観光客数は20年間で約100万人増加
- ・収益が修理につながる循環型の文化財保存・活用事業の継続、地元技術者の育成



○投資リターンを見据えた文化財修理・整備の拡充と美装化

姫路城天守の大規模改修

- ・総事業費30億円
- ・観覧料収入
2.9億円（H26）
→ 18.7億円（H27）

美装化



修理中もガイダンス施設を設置



○分かりやすい解説と多言語対応



日光東照宮新宝物館

- ・東照宮の歴史や徳川家康の生涯をビデオ等を用いて分かりやすく解説
- ・全ての展示品は、日本の歴史を知らない外国人でも理解できる英語解説がされている

○歴史的建造物の活用促進

西日本工業倶楽部会館

- ・国指定重要文化財を結婚式場等に活用



○文化財を ユニークベニュー とした文化イベント



姫路城での オペラ上演



現状・課題及び今後の対応

現状・課題

- 個々の文化財を点として保存
- 日本人でも理解が困難な、専門家にしか分からない解説
- 修理遅れによる資産価値の低下・劣悪な外観

プログラムのポイント

2020年までに、以下の取組を**1000事業**程度実施し、日本遺産をはじめ、**文化財を中核とする観光拠点**を**全国200拠点**程度整備。

○ 支援制度の見直し

- ・ 支援に当たり**観光客数等を指標**に追加
- ・ 地域の**文化財を一体的に整備・支援**
- ・ **適切な修理周期**による修理・整備
- ・ 観光資源としての**価値を高める美装化**への支援
- ・ **修理現場の公開**（修理観光）や、**修理の機会をとらえた解説整備**への支援 等

○ 観光コンテンツとしての質向上

- ・ 分かりやすい**解説の充実・多言語化**
- ・ **宿泊施設やユニークベンチャー等への観光活用**を促進
- ・ 学芸員や文化財保護担当者等に対する**文化財を活用した観光振興に関する講座の新設**、質の高い**Heritage Manager等の養成と配置**
- ・ 全国の文化財等の情報を発信する**ポータルサイト**の構築
- ・ 美術館や博物館における**参加・体験型教育プログラム**等への支援、二ーズを踏まえた**開館時間の延長**
- ・ **文化プログラム**をはじめとする**文化芸術活動との連携** 等